

当センターでの臨床研究（調査）にご協力ください

「非浸潤性乳管癌の診断と治療」に関する研究・調査を行っています。

国立がん研究センター中央病院及び東病院 乳腺外科では現在、臨床研究「針生検にて非浸潤性乳管癌(ductal carcinoma in situ)と診断された症例の臨床病理学的検討」という臨床研究に参加しております。この研究は、全国32箇所の医療機関との共同研究で、対象は、2010年4月1日から2014年12月31日の期間に針生検にて非浸潤性乳管癌と診断され、当院で外科的治療を受けられ、術後に外来通院されている方です。この研究結果により非浸潤性乳管癌への新たな治療・個別化治療を構築することを目的としています。研究（調査）実施期間は2020年3月31日までを予定しています。

診療記録や検査データなどを調査集計して研究を行いますので、新たな診察や検査の必要はありません。

研究担当者が、対象となる方の診療記録から、術前の画像診断や病理診断の情報、術式、手術結果、全身療法の内容、再発の有無とその状況などの情報を調査・集計します。

当院外へ個人情報がでることはありません。

この研究は、国立がん研究センター研究倫理審査委員会(IRB)で倫理性・科学性が検討され承認されています。また、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、あなた個人を特定できるような情報はふせられたままデータを集計しますので、あなたのプライバシーは厳重に守られます。

この研究にご自分の診療記録を使ってほしくない方は、お申し出ください。

この研究でのご自分の診療記録の使用や参加をお断りになっても、通常の診療などで不利益を受けることは全くありません。また上記の調査期間中であれば、いつでもお断りいただけます。その場合はあなたのデータを集計に用いることはいたしません。

何か不明な点がありましたら、またより詳しくお聞きになりたい方は、担当医までお問い合わせください。本研究への協力に賛同されない場合は、担当医に申し出ていただくか、下記連絡先までFAXにてご連絡ください。

平成28年2月11日

研究責任者：国立がん研究センター東病院 乳腺外科 北條 隆

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉6-5-1, TEL:04-7133-1111 FAX:

04-7131-4724

国立がん研究センター中央病院 乳腺・腫瘍内科 下村 昭彦